

単元名 きゅう食のじゅんび名人になろう

本時1 / 1時間

本時のねらい

育成を目指すプログラミング的思考

給食の準備の課題を解決するために話し合い、より速く実践することができる。

分解

物事を要素に分ける。

Stage1



本時のねらいとプログラミング的思考との関連性

本時の学習では、プログラミング的思考の中の分解と組合せの思考を取り入れ、給食の準備作業を細かく分け、手順の組合せ方を整理する活動に取り組む。普段行っている給食の準備作業を一つ一つ区切って考えさせ、より速く準備できる順序をワークシートに整理することによって、本時のねらいを効果的に達成できる。

学習ツール

Viscuit

Scratch

スライド

スプレッドシート

無

プログラミング的思考に関する活動の流れ  
(展開を想定)

●教師の発問・指示

◇指導上の留意点

※学習ツールを使用する際の留意点

導入

1 給食の準備に必要な手順を考える。

◇授業スライドを拡大提示し、説明や指示を補いながら進める。

●「給食の準備の順番を振り返りましょう。」  
※Google Classroom にリンクを貼る等、児童がスライドにアクセスできるようにしておく。

※カードの内容は、学校・学級の実態に応じて書き換えて配付する。

◇給食前の行動を一つ一つ区切って考えさせ、これまでの行動を振り返ったり、今後の行動に生かしたりするための手掛かりとする。

2 本時のめあてをつかむ。

よりはやく きゅう食のじゅんびが  
おわるじゅんばんを かんがえよう。

◇より効率的に準備ができる順序を考えるよう指示する。

展開

3 より速く給食の準備をする手順を、スライドに整理する。

●「スライドを開いて、速く給食の準備ができる順番を考えましょう。」

◇給食当番の場合と、給食当番でない場合に分けて考える必要があることに気付かせる。

◇カードを並べ替える活動を通して、より速く行動できる順を具体的にイメージできるようにする。

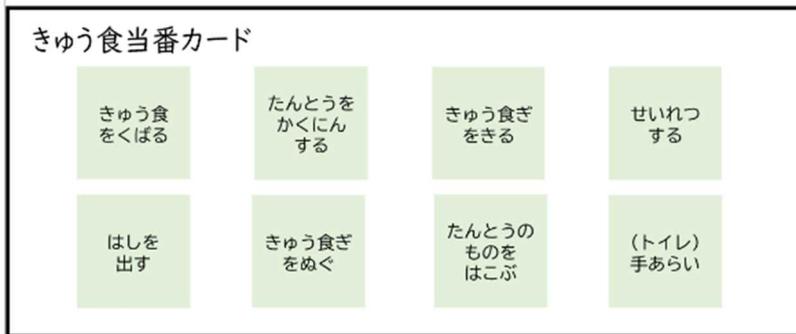
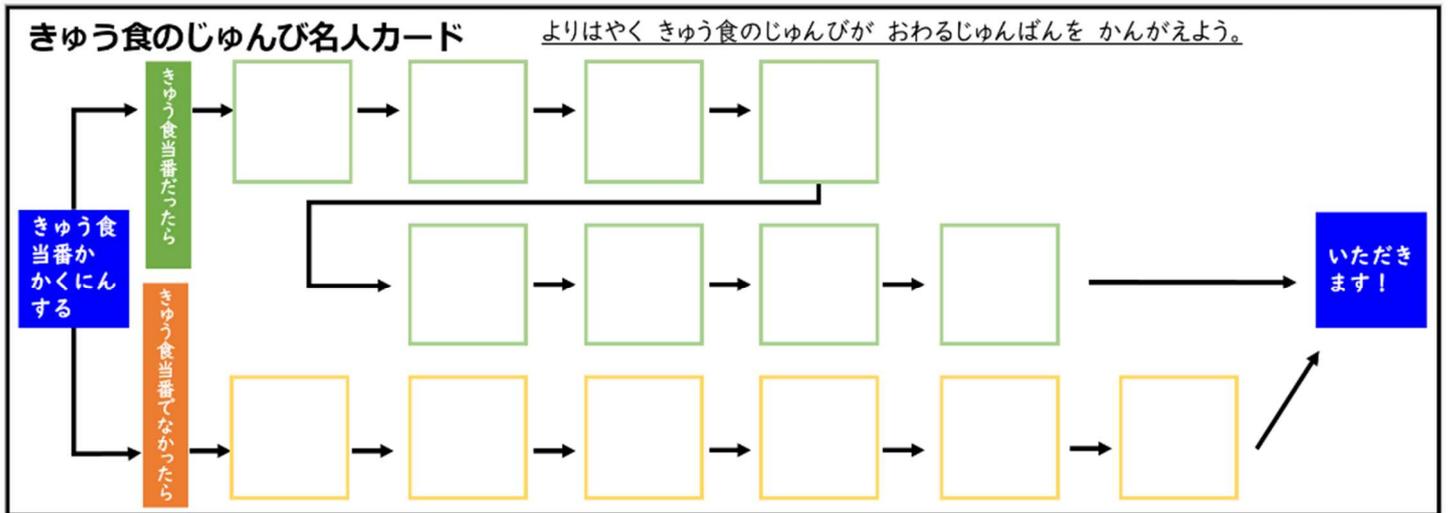
終末

4 グループで考えを交流する。

●「完成したワークシートを、同じ班の人と伝え合いましょう。」

◇3～4人のグループで考えを交流させ、より速くみんなそろって「いただきます」ができる手順になっているか、確認させる。

【スライドの作業シート(児童用)】



【スライドの作業シート(解答例)】

